

お別れのご挨拶

石黒 福芳

本日は私のために、お忙しい中を、お集まり頂きまして心から感謝申し上げます。

私はこのたび、かねがね伺ってました通り、人間の宿命で皆様方と住む世界を、異にすること相成りました。しかし何か大勢の皆さん方の、お見送りを受け全く未知の世界も、或いは楽しい旅が出来そうな気持ちだが、致して居ります。

私の生涯も色々な環境の中で、様々な起伏を経験してまいりましたが、総じて皆様方はじめ大勢の方々のご厚意に励まされて私なりに、充実した人生を、経験させて頂きまして厚く御礼申し上げます次第で御座います。思い起こしますと、六人兄弟の末っ子として一九二五年の大正十四年にこの世に生を受けて以来、両親をはじめ多くの善意の人々の励ましを頂戴し、健康にも恵まれて今日まで生き甲斐のある生活を過ごすことが出来ました。ただ青年期に達する期間は、不幸な人間同士の殺し合いの戦争時代で、沢山な同年配の友達が何の謂れもないままに、短い青春の命をなくされたことには、限らない憤りを感じております。

なお又、現在でも、この地球上の何処かで何の罪もない方々の悲惨な殺戮が、繰り返されている現実には悲しいことであります。

戦争から解放されてから、人並みに結婚も子供も恵まれて、生業の手段を、何の経験も資金もないままに、一介の「釣り道具屋」に託して半世紀以上に亘って持続出来ました事も、渡る世間に鬼はないのたとえ通り、沢山の巡り合った方々のお導きによって到達できた結果でありまして、そのご縁の幸せを噛み締めて居ります。当初家内の「まつよ」と二人三脚のスタートでありまして、何から何まで、お客様・地域の方々・卸業の先輩諸兄に教わりながらの商売でした。更に私どもの仕事の応援をする為に加わって下った、従業員の方々の涙ぐましい努力には、唯々感謝以外何物でもございませんでした。

更に六十五歳で現役を退いてからは、従来仕事一筋で何も知らなかった趣味の世界を、乗馬・書道・カラオケ・囲碁・ヨガの体操・古文書・ゴルフ・英会話・ワープロパソコンの手習い・楽しい文章講座・川柳入門・リラククス体操・など私が気づいて出来そうな項目を、下手の横好きで浅く広く体験させていただけでしたことは、大変幸せでありました。更に、体力的に継続出来なくなつてからも、楽しい集会にだけは声を掛けて頂いて、幅広い友情のお付き合いは、私の宝物として今から出掛ける次の世に、持参することが出来るような期待に胸を弾ませて居ります。ひよつとしたら或いは、新しい世界でも役に立つかも知れないと考えて居ります。

勿論人間それぞれに、存命中の希望とは裏腹に実行出来なかった事柄も、多い訳で御座いまして、私の場合も一歩進んで、社会に対する奉仕・ボランティア活動に、仲間と一緒に参加する運動を軌道に乗せる努力が、足りなかつた事を残念に存じて居ります。もしも来世に私に格好のお手伝い出来る分野がありましたら、参加させて頂くつもりで居ります。

本日は本当に有難うございました。万一、将来科学が発達して私と皆様方との世界が、互いに連絡出来るようになりましたら、忘れずにレポートをお送りさせて頂くという御約束を申し上げて出発いたします。皆様も決して急ぐ必要はございませんから、なるべく永い間住み慣れた人間社会を存分に楽しんで下さいませ。お願い申し上げます。

多分あちらの世界も、現在皆様がお住いの世界と同様に、楽しいことも悲しいことも色々あるかと思われませんが、「住めば都」の言葉通りに、新しい二十一世紀の地球の上で、存分に愉しめるように希望を致します。本日は、ありがとうございます御座いました。

「さようなら〜皆さんごきげんよう〜さようなら〜」